

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ハキイ ヤヨイ 波木井 やよい	女	1928 2010	身延町	身延町	『読みきかせのすすめ』 『親子で読みたい絵本300』 『子どもの本棚』	社会科学	1945年、東京都立第一高等女学校卒業。 山梨県に疎開し、山梨師範学校女子部本科に入学。 増穂町・中富町で3年、東京都で25年公立小学校に勤務。 後、公民館、学校等での子どもの本の普及活動に尽力した。 日本子どもの本研究会会員。 (『読みきかせのすすめ』)	『読みきかせのすすめ』(国土社、1994) 『<読みきかせ>ポランティア入門』(国土社、2006) 『親子で読みたい絵本300』(共著、共同通信社、2004) 『授業が生きるブックトーク』(共著、一声社、2007) 『えほん子どものための300冊』(共著、一声社、2004)	『読みきかせのすすめ』 『<読みきかせ>ポランティア入門』 『子どもの本棚』(2011年1月号No.507追悼記事)(山梨県立図書館所蔵) 『山梨日日新聞』(2009.9.18/11面、2008.5.30/21面)	2024/11/30	身延
ハセガワ シンイチ 長谷川 伸一	男	1963 	中富町	身延町	『山梨県人物・人材情報リスト2002』 『山梨日日新聞』	芸術・スポーツ	長谷川空手スクール代表 峡南高校空手部に所属し、3年時に国体で4位入賞。 その後アジア大会で準優勝するなど活躍。 整体治療院を開きながら、空手スクールで指導にあたる。 2002年ブラジルで行われた世界空手選手権男子団体「形の部」に2人の弟と出場、6連覇を達成。 2007年、文部科学大臣表彰。 弟:長谷川克英、行光。 (『山梨県人物・人材情報リスト2002』 『山梨日日新聞』)		『山梨県人物・人材情報リスト2002』(日外アソシエーツ、2002、p277) 『中富町50年の軌跡』(中富町、2004、p109) 『空手道マガジンJKFan』(新晃社、2004年8月号、表紙・巻頭特集『進化する空手』) 『山梨日日新聞』 (2002.11.24/16面、2007.3.27/14面、2014.7.1/野口賞受賞者、2015.11.1/20面、2017.12.10/23面、2020.9.12/19面、2022.3.2/22面) 『朝日新聞』(1998.11.10、山梨版)	2024/11/30	身延
ハセガワ テル 長谷川 テル	女	1912 1947	大原村	大月市	『長谷川テル』 『大月人物伝』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』	社会科学 言語	エスペ란ティスト、反戦活動家。 通称テル子、照子 エスペラント名ヴェルダ・マーヨ。 中国での通名緑川英子。 エスペ란ティストの中国人劉仁と結婚。中国に渡り抗日・反戦運動に参加、抗日反戦放送のアナウンサーとなる。 1983年中国政府により四豊山合塚陵園「国際主義戦士」テルと劉仁の比翼墓建立 (『長谷川テル』、『大月人物伝』、『山梨県人物・人材情報リスト2011』、『山梨百科事典』)	『嵐の中のささやき』(新評論、1980) 『長谷川テル作品集』(亜紀書房、1979)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p747) 『長谷川テル』(せせらぎ出版、2007、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p337) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p2163~220、顔写真あり) 『望郷の星 長谷川テルの青春』(TBSブリタニカ、1980) 『嵐の中のささやき』(新評論、1980、p203~206、顔写真あり)	2024/11/26	大月
ハタ タツオ 羽田 辰男	男	1928 2008	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2013』	社会科学	弁護士。1925年中央大学法学部卒業。 同年司法試験に合格、検事となる。 1970年岐阜地検を最後に退官し、弁護士となる。巨額の顧問料を人権擁護活動や学生のために寄付するなどの活動を行う。1989年には羽田人権文化基金を創設。2009年寄付金をもとに「羽田ブックプレゼント事業」を実施する。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』、『山梨日日新聞』)		『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p47~48) 『山梨日日新聞』(2009.6.24、18面)	2024/12/27	富士吉田

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ハチウタ マサ 羽中田 昌	男	1964 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2019』	芸術・ス ポーツ	サッカー指導者。解説者。 小学校5・6年生の時全国大会優秀選手 に選ばれ、中学時代ナショナルトレセン に参加。韭崎高に進学、1年生からレ ギュラーで活躍し2年連続全国大会準 優勝に貢献。プロを志したが1983年交 通事故で下半身不随になり車いす生活 に。1995年、スペインサッカー協会公認 のコーチングスクールに入学。2006年 日本サッカー協会S級コーチライセンス を取得。2008～09カマタマーレ讃岐、 2012奈良クラブ、2015年東京23FC監督 に就任。(『山梨県人物・人材情報リスト 2019』)	『みんなの声がきこえる』(四谷ラウンド、 1998) 『グラスアス』(四谷ラウンド、1999) 『そこから始まる』(扶桑社、2001) 『サッカー監督の流儀』(スキージャーナ ル、2008)	『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日 外アソシエーツ、2018、p567) 『必ず、愛は勝つ!』(講談社、2017) 『山梨日日新聞』(2017.6.16、14面)	2024/11/8	韭崎
ハッタ タツヤ 八田 達也	男	1854 1916	鶯飼村	笛吹市	『山梨百科事典』	産業	蚕糸改良家 政治家 (『山梨百科事典』『山梨県人物・人材情 報リスト2021』)	『蚕事輯説』(内藤伝右衛門、1886) 『新撰養蚕書』(出版社不明、1894) 『秋蚕と風穴』(山梨蚕友会、1906) 『実験秋蚕飼育法』(明文堂、1912)『蚕 桑要説』(柳正堂、1896)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p753) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日 外アソシエーツ、2020、p177) 『石和町誌2』(石和町、1991、p349～ 351) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』 (東八代広域行政事務組合、2002、 p179～188) ほか	2024/11/8	石和
ハツリ はっとり	男	1993 	玉穂町	中央市	『ことばの種』	芸術・ス ポーツ	2012年 ポップロックバンド『マカロニえ んびつ』を結成 2021年、日本レコード大賞最優秀新人 賞(『ことばの種』)	『ことばの種』(双葉社、2022)	『ことばの種』(双葉社、2022、奥付)	2024/11/8	玉穂
ハナカタ タケオ 羽中田 壮雄	男	1924 2017	福島県	福島県	『甲斐の美術・建造物・城郭』	歴史・地理	1942年、山梨県職員となる。 1960年、山梨県文化財調査委員。 1979年、敷島町文化財審議会会長。 1990年、竜王町文化財保護審議委員。 1999年、勲五等瑞宝章受章。 山梨郷土研究会理事 (『甲斐の美術・建造物・城郭』)	『光照寺と蘇った薬師堂』(『甲斐中世史 と仏教美術』名著出版、1994) 『山梨県の近代化遺産』(山梨県教育委 員会、1997、分担執筆) 『玉穂町誌』(玉穂町、1997、分担執筆) 『山梨の歴史景観』(山梨日日新聞社、 1999、分担執筆) 『山梨県史』文化財編(山梨県、1999、 分担執筆) 『山梨県の巨樹・名木100選』(山梨日日 新聞社、2001、執筆協力) ほか	『山梨日日新聞』(1999.11.3、5面、 2017.12.30、おくやみ) 『甲斐の美術・建造物・城郭』(岩田書 院、2002、略年譜p463～467)	2024/11/25	竜王
ハニハラ イチジョウ 埴原 一壺	男	1907 1977	白州町	北社市	『イメージネーション』創刊号	文学	古本業、作家。 芥川賞候補3回。 (山梨文芸協会「イメージネーション」創刊 号)	『埴原一壺創作集』(文芸復興社、1968) 『一国一壺ほろ家の主』(栄光出版社、 1977) 『人間地図』(創思社、1969) 『東京湾の風』(栄光出版社、1981)	『「二足の草鞋を履いた」芥川賞候補作 家埴原一壺記』(植松光宏、2002) 『イメージネーション』創刊号(山梨文芸協 会事務局、2002、p232～247)	2024/10/23	はくしゅう

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ハニハラ クワコ 埴原 久和代	女	1879 1936	源村	南アルプス市	『山梨県人物・人材情報リスト 2019』	芸術・ス ポーツ	洋画家 甲斐美術協会設立 山梨美術協会結成 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)		『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日 外アソシエーツ、2018、p406) 『山梨美術』(山梨美術協会、1977、 p12)	2024/10/4	白根
ハニハラ マサナオ 埴原 正直	男	1876 1934	源村	南アルプス市	『駐米大使埴原正直』 『山梨県人物・人材情報リスト 2019』	社会科学	外交官、駐米大使 1916年、サンフランシスコ総領事 1919年、外務事務次官 1922年、駐米特命全權大使 1921年、羅馬尼国(ルーマニア国)皇帝 より第一等勲章 1924年、勲一等旭日大綬章ほか (『駐米大使埴原正直』、『山梨県人物・ 人材情報リスト2019』)		『駐米大使埴原正直』(兩宮正英、2011) 『「排日移民法」と闘った外交官』(チャオ 埴原美鈴共著、藤原書店、2011) 『日本近現代人名辞典』(臼井勝美ほか 編、吉川弘文館、2001、p837~838) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日 外アソシエーツ、2018、p39)	2024/10/4	白根
ハマダ ショウゾウ 浜田 彰三	男	1944 	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト 2004』	芸術・ス ポーツ	彫刻家。 1966年から岡崎市の石工師のもとで修 行。 1971年、富士吉田市にアトリエを開設 し、本格的に活動を始める。みさか桃源 郷公園、忍野村水番小屋、富士吉田市 庁舎前、東京都江戸川区の親水緑道な どにも多くの作品が設置される。 (『山梨県人物・人材情報リスト2004』)	『やさしさの石たち』(浜田彰三石彫、光 村印刷、1995)	『山梨県人物・人材情報リスト2004』(日 外アソシエーツ、2003、p304) 『浜田彰三ホームページ』SHIBORI http://www.hamadashozo.com/ (2024.12.27確認)	2024/12/27	富士吉田
ハヤカワ リツグ 早川 徳次	男	1881 1942	御代咲村	笛吹市	『東八メモリーズこんなひとが いた。』 『山梨「人物」博物館』	産業	日本初の地下鉄を創設。 東京地下鉄道株式会社を設立、鉄道業 界に大きな功績を残す。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p761) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p157~158) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』 (東八代広域行政事務組合、2002、 p189~199、顔写真あり) 『山梨「人物」博物館』(江宮隆之編著、 丸山学芸図書、1992、p152~153) 『郷土史にかがやく人びと 集合編Ⅳ』 (青少年育成山梨県民会議、1997、 p111~124、顔写真あり) 『夢の地下鉄冒険列車』(佐藤一美作、 くもん出版、1990、顔写真あり) 『日本の鉄道をつくった人たち』(悠書 館、2010、p231~251、顔写真あり) 『東京メトロ建設と開業の歴史』(東京地 下鉄株式会社編著、実業之日本社、 2014、p33、p42、顔写真あり) 『笛吹市ふるさとの偉人』(笛吹市教育 委員会・笛吹市ふるさとの偉人選考委 員会、2017、頁付なし、顔写真あり) リーフレット「地下鉄の父 早川徳次」(早 川徳次ふるさと後援会制作、2022)	2024/11/15	一宮

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ハヤシ イチ 林 市江	女	1931 	甲府市	甲府市	『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』	文学	歌人。 1970年、短歌研究新人賞受賞。 1985年、潮音賞受賞。 (『やまなし・女性の文学』)	『銀漢頌』(白玉書房、1978) 『あたたかき闇』(不識書院、1988) 『美知思波 八十五周年記念合同歌集』 (美知志波短歌会 2019、p136～137短歌掲載)	『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p49) 『現代歌人の宴 二十一世紀への架橋企画展』(山梨県立文学館 1997、p89)	2024/9/23	甲府
ハヤシ シゲマツ 林 茂松 (初代)	男	1909 1973	甲府市	甲府市	『山梨百科事典』	芸術・スポーツ	陶芸家。初代。 京都国立陶磁器試験所専修科卒業。陶彫を沼田一雄などに師事。 1932年から韮崎市穴山村に窯場を開設。能穴焼と命名。能穴三彩の特徴をもつ。 1952年、全国陶芸展入選。 1953年、第9回日展に初入選。以後、日展を中心に活躍する。 1972年、勲五等瑞宝章、県政功労者の表彰を受ける。 (『山梨百科事典』) 「中央線」創刊号～11号の表紙を飾る。 嘘月美術館(南アルプス市)に多数収蔵。 (『山梨「人物」博物館』)	「中央線創刊号、3～11号」(中央線社、1968年～1974年、表紙の陶彫を作成) 「中央線同上号に詩・随筆」(中央線社、1968年)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p761) 『韮崎市誌・中巻』(韮崎市誌、1979、p723) 『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、1992、p216) 「中央線第11号(追悼特集)」(中央線社、1974、p17～61)	2024/11/8	韮崎
ハヤシ タツノ 林 立人	男	1933 	東京都	東京都	『詩集<モリ>』	文学	詩人。 日本現代詩人会会員、日本文芸家協会会員。 2000年北州市明野町に仕事を構える。 (『詩集<モリ>』)	詩集『ツエツペリン』(詩学社、1970) 詩集『棺応答集』(花神社、1978) 『詩集<モリ>』(花神社、2004) CD「詩<モリ>を読む」(GroupVELA、2006)	『清流』(清流出版、2006年12月号、p14～15) 『山梨日日新聞』(2006.1.26、11面) 『詩集<モリ>』(花神社、2004、128p、奥付)	2025/1/29	明野
ハヤシ マリコ 林 真理子	女	1954 	山梨市	山梨市	『山梨県人物・人材情報リスト2017』	文学	小説家、エッセイスト。 2000年～直木賞選考委員。 コピーライターを経て人気エッセイストの地位を確立。 1986年『最終便に間に合えば』『京都まで』で第94回直木賞受賞。 1995年『百連れんれん』で第8回柴田錬三郎賞受賞。 1998年『みんなの秘密』で第32回吉川英治文学賞を受賞。 2018年紫綬褒章を受章。 2020年菊池寛賞ほか受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2017』 『やまなし・女性の文学』「林真理子公式ブログ」)	『ルンルンを買ってうちに帰ろう』(主婦の友社、1982) 『最終便に間に合えば』(文芸春秋、1985) 『白連れんれん』(中央公論社、1994) 『みんなの秘密』(講談社、1997) 『anego』(小学館、2003) 『下流の宴』(毎日新聞社、2010) 『小説8050』(新潮社、2021) 『マリコ、アニバーサリー』(文芸春秋、2024) 『人生は苺ショート』(マガジンハウス、2024) ほか	『山梨の女性作家たち』(ふじざくらの会、1997、p41～45) 『やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p62～67) 『山梨県人物・人材情報リスト2017』(『日外アンシエーツ』2016、p333) 「林真理子公式ブログ」 https://hayashimariko.exblog.jp/ (2024/11/16確認)	2024/11/24	山梨

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ハヤシヤ ショウシヤク 林家 正雀	男	1951 	大月市	大月市	落語協会ホームページ 『正雀芝居ばなし』 『大月人物伝』	芸術・ス ポーツ	落語家落語協会所属。 本名井上茂。 山梨県立都留高等学校在学中、落語研 究会を設立。 1974年「八代目林家正蔵」(林家彦六)に 入門。前座名「茂蔵」後に「繁蔵」と改 名。 1978年ニツ目昇進「正雀」と改名。 1979年第8回NHK新人コンクール最優 秀賞。 1982年八代目正蔵没後、橘家文蔵一 門に。 1983年真打昇進。 1987年年芸術祭賞受賞。 1996年芸術選奨大衆芸能部門新人 賞。 (落語協会ホームページ、林家正雀公 式サイト、『正雀芝居ばなし』、『大月人 物伝』)	『正雀芝居ばなし』(立風書房、1993) 『師匠の懐中時計』(うなぎ書房、2000) 『増補師匠の懐中時計』(うなぎ書房、 2003) 『彦六覚え帖』(うなぎ書房、2012)	一般社団法人落語協会ホームページ https://rakugo-kyokai.jp/ (2024/11/26 確認) 林家正雀公式サイト雀の御宿 https://60momc.wixsite.com/shoujyaku / (2024/11/26確認) 『正雀芝居ばなし』(著者紹介欄、顔写 真あり) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株 式会社、2008、p225~228) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2010、p346~347)	2024/11/26	大月
ハラダ コトコ 原田 琴子	女	1889 1925	愛知県名古屋 市	愛知県名古屋 市	『「青鞥」人物事典』 『富沢町誌下巻』	文学	歌人。 文芸誌『明星』などに投稿し与謝野鉄幹 や晶子などの選に入ったり『青鞥』にも 寄稿し活躍。 夫の出身地である万沢村へ移住。(『富 沢町誌下巻』)	『ふるへる花』(原田琴子、水の原社、 1987、埼玉県立熊谷図書館所蔵)	『「青鞥」人物事典—110人の群像—』 (らいてう研究会編著、大修館書店、 2001、P140、山梨県立図書館所蔵) 『富沢町誌下巻』(富沢町役場、2002、 p416、)	2024/12/3	南部
ハラダ ジュウソウ 原田 重三	男	1921 2006	竜王町	甲斐市	「山梨日日新聞」 『脱走』	文学	日本文芸家協会、日本ペンクラブ会員。 山梨文芸協会副会長、山梨同人誌懇話 会座長、中村星湖文学賞選考委員、山 梨芸術文化協会委員、「作家」地区委 員。 「すばる」文芸誌主宰。 (『脱走』)	『忘却の丘』(甲陽書房、1978) 『梟の脱走』(近代文芸社、1994) 『認識票—女の戦記—』(東京図書出版 会、1999) 『脱走』(山梨ふるさと文庫、2004) 『「作家」に関わった山梨の文人たち』 (季刊作家社、2005) 『サンカの墓』(山梨ふるさと文庫、 2006) ほか	『脱走』(山梨ふるさと文庫、2004、奥 付) 「山梨日日新聞」(2006.6.13、11面)	2024/11/25	竜王
ハラダ ヨシキヨ 原田 義清	男	1914 	双葉町	甲斐市	『双葉町の俳句考』	文学	豊岡村・登美村農会勤務 山梨県庁職員・技手、技師 双葉町選挙管理委員会会長 (『双葉町の俳句考』)	『双葉町の俳句考』(原田義清、1999)	山梨日日新聞(1996.6.21、21面) 『双葉町の俳句考』(原田義清、1999、 95p)	2024/11/1	双葉
ハン ユカ 判 泰	男	1910 1997	河口村	富士河口湖町	『浅間神社正史』	歴史・地理	元河口浅間神社宮司。 郷土研究者。 (『浅間神社正史』)	『浅間神社正史』(浅間神社、1983)	『浅間神社正史』(浅間神社、1983)	2024/12/28	富士河口湖

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヒカイ センゾウ 樋貝 詮三	男	1890 1953	勝沼町	甲州市	『山梨百科事典』	社会科学	政治家 1946年衆議院議長 1949年国務大臣 小川正子元夫 (『山梨百科事典』)	『海の慣習法』(良書普及会、1943) 『恩給法原論』(巖松堂書店、1922) 『新恩給法釈義』(良書普及会、1923) ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p768) 『郷土史にかがやく人々・集合編Ⅱ』(青少年のための山梨県民会議、1980、p241~258) 『政治家学人樋貝詮三先生を讀う』(樋貝詮三先生胸像建設委員会、1972)	2025/2/28	塩山
ヒグチ アキオ 樋口 明雄	男	1960 	山口県	山口県	『クライム』	文学	作家、山梨県自然監視員。 (『クライム』) 『約束の地』、第27回日本冒険小説協会大賞、第12回大数春彦賞をダブル受賞(『目の前にシカの鼻息』)	『戦場は、フリーウェイ』(双葉社、1987) 『狼は眠らない』(角川春樹事務所、2000) 『クライム』(角川春樹事務所、2006) 『約束の地』(光文社、2008) 『ミッドナイト・ラン!』(講談社、2011) ほか	『ミステリアス・ジャム・セッション』(早川書房、2004、p112~119) 『目の前にシカの鼻息』(フライの雑誌、2011)	2024/10/23	はくしゅう
ヒグチ イッコウ 樋口 一葉	女	1872 1896	東京	東京都	『山梨百科事典』	文学	作家 (『山梨百科事典』) 青海学校小学高等科第四級を首席で卒業 歌人中島歌子の「萩の舎塾」へ入る (『新潮日本文学アルバム樋口一葉』) 両親は中萩原村(現在の甲州市)出身	『一葉全集』(筑摩書房、1954) 『現代日本文学全集第9巻』(改造社、1927) 『全集樋口一葉』(小学館1979) 『樋口一葉小説集』(筑摩書房、2005) 『日本現代文学全集第3巻』(講談社、1977)	『新潮日本文学アルバム3樋口一葉』(新潮社、1985) 『樋口一葉と甲州』(甲陽書房、1989) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p773) ほか	2025/2/28	塩山
ヒグチ フジオ 樋口 富士雄	男	1942 	増穂町	富士川町	『山梨自然の極』	自然科学・ 医学	山梨自然監視員(1985~2001年) 富士山五合目周辺自然解説員(1994年~) (『山梨自然の極』) NPO法人富士山ふるさと研究会理事 長。	『山梨自然の極』(山梨日日新聞社、2007)	『山梨自然の極』(山梨日日新聞社、2007、奥付) 『山梨日日新聞』(2007.7.25、18面、2012.2.15、19面、顔写真あり、2023.6.6、15面)	2024/11/25	竜王
ヒグチ マサカズ 樋口 雅一	男	1946 	谷村町	都留市	『萬画堂』だより (本人ホームページ)	芸術・ス ポーツ	アニメーターとしてタツノコプロ、虫プロを経てフリーに。『ムーミン』、『まんがが日本昔ばなし』ほかのTVアニメ番組で監督・演出・作画を務めたのち、単行書を主とするマンガ家となる。 (『萬画堂』だより)	『マンガ聖書物語(旧約篇・新約篇)』(講談社、1998) 『マンガグリム童話』(講談社、2003) 『マンガメデイチ家物語』(講談社、2005) 『まんがキリスト教の歴史(前・後篇)』(いのちのことば社、2006・2008)『グリム童話(コミック版)』(大和書房、2007) 『マンガ聖書物語イエスの弟子たちとパウロ』(いのちのことば社、2009)	『まんがキリスト教の歴史前篇』(2006、著者紹介) 『『萬画堂』便り』(ブログ) https://manga-do.hatenablog.com/t (2024.11.8確認)	2024/11/8	都留
ヒコオクラ 飛兎 おくら	男	1954 	山梨県	山梨県	『山梨日日新聞』 『少年のひ』	文学	甲斐市在住。 40代からミステリー小説を書く。	『少年のひ』 (文芸社、2021)	『山梨日日新聞』 (2021.9.14、13面、顔写真あり)	2024/11/28	敷島

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヒガ ケイ 妣田 圭子	女	1912 2011	大阪府	大阪府	『山梨県人物・人材情報リスト 2017』	芸術・ス ポーツ	草絵作家。 草絵の創始者。書家。舞踏家。翻訳 家。実業家としても幅広く活躍。 1982年、生活の拠点を山梨市に移す。 妣田豊原塾主催。 (『山梨県人物・人材情報リスト2017』)	『ひとりごつインカ』(柏書房、1976) 『草絵宗教画によるいのち生きる私たち』(山雅房、1978) 『見えないものをみる目』(希望社、 1983) 『ナラ王物語』(翻訳、サンスクリット・サ ロン、1983) 『草絵第1〜3巻』(京都書院、1989- 1990) 『心経百話』(東方出版、1993) ほか	『妣田圭子展』(山梨市、2012) 『山梨県人物・人材情報リスト2017』(日 外アンジエーツ、2016、p399)	2024/11/24	山梨
ヒハラ ムケン 日原 無限	男	1885 1930	塩山市	甲州市	『山梨百科事典』 『山梨文芸の研究』 『山梨県アララギ系物故歌人伝』	文学	歌人 本名は文蔵(ブンゾウ) 地方回りの芝居、浪曲、歌舞、曲芸、奇 術などの演劇 塩山藤木の龍光院に歌碑建設 (「山梨日日新聞」)	『日原無限歌集』(みづみ短歌会、 1985)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p778) 『山梨県人物・人材情報リスト2025』(日 外アンジエーツ/制作、2024、p381) 『山梨文芸の研究』(山梨ふるさと文庫、 2009、p169・170) 『山梨県アララギ系物故歌人伝』(みづ み短歌会、1989、p31~45) 「山梨日日新聞」 2000.10.17、12面 1990.9.11、9面	2025/2/28	塩山
ヒヤキマル 百鬼丸	男	1951 	富士吉田市	富士吉田市	「山梨日日新聞」	芸術・ス ポーツ	挿絵画家、切り絵画家。 東洋大学工学部建築科卒。 1978年、切り絵の創作活動に入る。単 行本・文庫本のカバー画等の挿絵を担 当。埼玉県在住。 (『山梨県人物・人材情報リスト2007』)	『お帰らない朝青龍』(内館牧子著、朝 日新聞社、2008) 『歌舞伎ギャラリー50』(田口章子編著、 学研、2008) 『休眠用心棒』(森村誠一著、中央公論 社、2008) 『五万両の茶器』(小杉健治著、光文 社、2008) 『孤狼江戸を奔る』(松本茂樹著、広済 堂出版、2008) ほか(挿絵)	『山梨県人物・人材情報リスト2007』(日 外アンジエーツ、2006、p266) 「山梨日日新聞」(2002.7.14、4面) 「百鬼丸ホームページ」 http://www.hyakkimaru.ninja (2024.12.27 確認)	2024/12/27	富士吉田
ヒラカ ジュン 平賀 淳	男	1978 2022	双葉町	甲斐市	「山梨日日新聞」 「平賀淳OFFICIAL WEBSITE」	芸術・ス ポーツ	登山家、山岳カメラマン。 1978年生まれ。 韮崎高校山岳部出身。 2003年カメラマン活動開始。 2007年エベレスト登頂。 プロカメラマンとして20年近く活動。年間 の撮影は300日を超える。 2022年アラスカでの撮影中、滑落事故 により逝去。 (「山梨日日新聞」 「平賀淳OFFICIAL WEBSITE」)	<表紙撮影図書> 『さよなら、野口健』(小林元喜、集英社 インターナショナル、2022) 『登り続けるということ。』(野口健、学研 プラス、2021) 『確かに生きる』(野口健、集英社文庫、 2009) 『あきらめないこと、それが冒険だ』(野 口健、学研プラス、2006)	「平賀淳OFFICIAL WEBSITE」 https://hiraga-jun.site/profile/ (2025.1.12確認) FULLMARKS公式WEBSITE 山本健一ブログ「平賀淳という男1〜3」 https://full-marks.com/yamaken/ (2025.1.12確認) 「山梨日日新聞」 (2021.1.3、29面、写真あり)	2025/1/12	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヒラガ フミオ 平賀 文男	男	1895 1964	穂坂村	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』	芸術・スポーツ	登山家。 生家で農業に従事、県会議員もつとめた。 山を愛し文章をよくし、1922年、南アルプスの甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、北岳を縦走。 積雪期の南アルプスも踏破、開拓した。 1924年、甲斐山岳会を創立。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)	『日本南アルプスと甲斐の山旅』(マウンテン、1926) 『日本南アルプス』(博文館、1929) 『八ヶ岳火山群』(木犀社書院、1932) 『赤石溪谷』(隆章閣、1933) 『中央アルプスと御岳』(大村書店、1936)	『山梨県人物人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p568) 『平賀文男ノート』(白山書房、2007)	2024/11/1	韮崎
ヒラタ センホウ 平田 泉鳳	男	1906 1975	武川村	北杜市	『武川村誌下巻』	社会科学	武川村社会教育委員、教育長を歴任し、昭和36年度県政功績者として表彰。 (『武川村誌下巻』) 郷土民謡縁故節と馬八節の普及宣伝に努力した。 (『文協むかわ創立20周年記念誌』)	『馬八節』(民謡、1934) (『文協むかわ創立20周年記念誌』武川村文化協会、1992、p89～90) 『馬八物語』(『武川の文化財と民謡・伝説・伝記・童謡代1集』、武川村教育委員会、1980、p21～26) 『武川村誌下巻』(武川村、1986、p860～861、p874～876)	『武川村誌下巻』(武川村、1986、p536～539) 『文協むかわ創立20周年記念誌』(武川村文化協会、1993、p100)	2024/11/7	むかわ
ヒラノ ミウ 平野 美宇	女	2000 	田富町	中央市	『山梨日日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』	芸術・スポーツ	卓球選手。 3歳から卓球を始め、田富北小学校からエリートアカデミーを経て、2018年よりプロに転向。 2016年、女子ワールドカップ・シングルスでは、史上最年少で日本勢初優勝。 中央市スポーツ栄誉大賞(現、中央市民栄誉賞)受賞。 2017年、全日本選手権女子シングルスで史上最年少優勝。アジア選手権女子シングルスで史上最年少優勝。野口賞スポーツ部門受賞。 2021年、東京五輪女子団体が銀メダルを獲得。県民栄誉賞受賞。 2024年、パリ五輪女子団体が銀メダルを獲得。2回目の県民栄誉賞を受賞。 (『山梨日日新聞』) (『山梨県人物・人材情報リスト2021』) (『中央市役所HP』)		『山梨日日新聞』(2024.1.26、号外) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p570) 『美宇は、みう。夢を育て自立を促す子育て日記』(平野真理子著、健康ジャーナル社、2017) 『平野美宇と伊藤美誠がんばれ！ピンポンカールズ』(城島充著、講談社、2018) 『卓球びあ みうみまひな・女子高生トリア』(びあ、2018) 『卓球ジャパン女子』(高樹ミナ著、汐文社、2020) 『中央市役所HP』(名誉市民・市民栄誉賞)	2024/11/8	田富
ヒラヤマ ユウ 平山 優	男	1964 	東京都	東京都	『山梨日日新聞』	歴史・地理	山梨県の郷土史家 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) 健康科学大学特任教授 (『山梨日日新聞』)	『戦国大名領国の基礎構造』(校倉書房、1999) 『武田信玄』(吉川弘文館、2006) 『山本勘助』(東京、2006) 『検証長篠合戦』(吉川弘文館、2014) 『山梨「地理・地名・地図」の謎』(実業之日本社、2015) 『真田三代の挑戦』(NHK出版、2016) 『真田一族』(サンニチ印刷、2016) 『武田氏滅亡』(KADOKAWA、2017) 『徳川家康と武田勝頼』(幻冬舎、2023)ほか	『山梨日日新聞』(2000.7.1、19面、2014.11.14、12面、2017.3.22、15面、2017.5.28、20面、2019.1.25、13面、2019.4.26、13面、顔写真あり、2019.9.8、24面、2019.12.6、13面顔写真あり、2020.10.28、8面、顔写真あり、2024.8.22、11面) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p241)	2024/11/12	榑形

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ヒロセ ケンキョウ 廣瀬 元恭	男	1821 1870	藤田村	南アルプス市	『山梨百科事典』 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』 『コンサイス日本人名事典』	自然科学・ 医学	医師、蘭学者。 京都に蘭学塾時習堂を開く。 伊勢国津藩の医員。 官軍病院の初代院長。 天然痘の絶滅を期して西洋の諸書を研究した。学問の幅が広く、医学のほか、洋式兵学・築城・砲術に通じる。 (『山梨百科事典』『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』『コンサイス日本人名事典』)	『新訂牛痘奇法』(広瀬元恭校、絵入本、1849) 『知生論』(広瀬元恭天目訳、幕末期生理学書、1856) 『西医脈鑑』(広瀬元恭訳、時習堂、1857) 『人身窮理』(広瀬元恭再訳、時習堂蔵版、1855)ほか	『知られざる蘭医の夢ー広瀬元恭の生涯』(加藤雅彦著、近代文藝社、1993) 『京都時習堂ー幕末の蘭医広瀬元恭の生涯』(鬼丸智彦著、アーカイブス出版、2008) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p663) 『郷土史にかがやく人々集合編Ⅲ』(青少年のための山梨県民会議、1987、p255~275) 『コンサイス日本人名事典第4版』(三省堂、2001、p1109) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p463) 「山梨日日新聞」(2016.7.20、34面、2016.8.30、30面)	2024/10/30	わかくさ
ヒロセ ナオト 広瀬 直人	男	1929 2018	一宮町	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト2023』 『山梨日日新聞』	文学	俳人 「白露」主宰 1968年山鷹賞(第4回)受賞 2009年蛇笏賞(第43回)受賞 山日文芸俳句選者 山日新春文芸俳句選者 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『帰路』(雲母社、1972)(石和図書館所蔵) 『飯田龍太の俳句』(花神社、1985) 『朝の川』(富士見書房、1986) 『俳句実作入門』(富士見書房、1993)(石和図書館所蔵) 『日の鳥』(牧羊社、1997)(石和図書館所蔵) 『矢竹』(花神社、2002) 『暁照』(ウエップ、2004) 『作句の現場』(角川学芸出版、2007)(石和図書館・春日居図書館所蔵) 『風の空』(角川書店、2008)(石和図書館所蔵) 『廣瀬直人全句集』(角川文化振興財団、2020)ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p365~366) 『現代日本人名録2022:4』(日外アソシエーツ、p17) 『廣瀬直人全句集』(角川文化振興財団、2020、顔写真あり、p590~601に略年譜あり) 「山梨日日新聞」(200.9.4.17、22面、2009.4.25、13面、顔写真あり、2009.6.20、26面、顔写真あり、2018.3.3、31面、顔写真あり、死去年月日あり、2020.4.8、12面、顔写真あり)	2024/11/15	一宮
ヒロセ ワイク 廣瀬 和育	男	1849 1925	藤田村	南アルプス市	『山梨百科事典』	社会科学	貴族院議員、第十銀行頭取。 賞付会社釜右社を設立。書画に優れる。 (『山梨百科事典』)	『山梨大式生事蹟考』(広瀬和育共著、山梨県教育会、1931) 『訳文柳子新論』(広瀬和育共編、広瀬和育、1924、山梨県立図書館蔵)ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p664) 『図説斐崎・巨摩の歴史』(郷土出版社、2000、p210、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p22、72)	2024/10/30	わかくさ

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ビンカ シゲミチ 備仲 臣道	男	1941 	朝鮮	韓国	『美は乱調にあり、生は無限にあり』 『内田百閒我楽多箱』	歴史・地理	1941年、朝鮮忠清南道大田生まれ。 1945年、日本の敗戦により帰国、尾道を経て山梨へ。 1959年、山梨県立甲府第一高校卒。 山梨時事新聞に入社し記者となる。同労働組合書記長。 1982年、月刊「新山梨」を創刊、編集発行人となる。 1993年、同誌を134号まで発行して休刊。 2009年、国立市へ転居。 2002年、「メロンとお好み焼き」で第6回岡山・吉備の国内田百閒文学賞優秀賞を受賞。 (『内田百閒我楽多箱』) 美術団体「猿の会」事務局長。 (『美は乱調にあり、生は無限にあり』)	『千塚物語』(花郷堂書林、1979) 『蘇る朝鮮文化』(明石書店、1993) 『輝いて生きた人々』(山梨ふるさと文庫、1996) 『美は乱調にあり、生は無限にあり』(批評社、2006) 『司馬遼太郎と朝鮮』(批評社、2007) 『坂本龍馬と朝鮮』(かもがわ出版、2010) 『内田百閒我楽多箱』(皓星社、2012) 『坂本篤艶本狂詩曲』(皓星社、2016)	『美は乱調にあり、生は無限にあり』(批評社、2006、奥付) 『内田百閒我楽多箱』(皓星社、2012、奥付)	2024/11/25	竜王
フカサワ イスミ 深沢 泉	男	1909 1998	中富町	身延町	『中富町誌』 『甲州方言』 『山梨日日新聞』	言語	戦前山梨県公立小中学校・山梨師範訓練・教諭。 派遣された中国で日本中学校の教諭を勤める。 帰国後は山梨県立高校教諭、山梨大学教授。 産経新聞山梨版に甲州方言解説を掲載。 NHKラジオ『甲州百話』で、民話等の脚本を担当。 1970年『唐以王』で旺文社学芸コンクール文部大臣賞。 山梨方言研究会会員。 (『甲州方言』)	『山梨県政六十周年誌』(山梨県、1952、p1415～) 『甲州方言』(甲陽書房、1976) 『唐似王』(旺文社、1970)	『中富町誌』(中富町誌編集委員会、1971、p1034) 『甲州方言』(甲陽書房、1976、奥付) 『山梨日日新聞』 (1989年連載「甲州弁の風景」 1.16/1.23/2.20/2.27/3.27/4.10/4.17/4.24/5.8/6.5/6.19/ 1998.6.17、16面、1998.6.24、16面 1998.12.30/12面)	2024/11/30	身延
フカサワ カンコウ 深澤 完興	男	1936 2019	長坂町	北杜市	『昭和町誌』	文学	元教員 2005年1月「歌会始の儀」入選 西条小学校校歌歌詞 常永小学校校歌歌詞 元昭和町立図書館館長 元北杜市立たかね図書館館長 元昭和町教育長	『雪ふれ降れ深澤完興句集』(半熟、2007) 『百日紅真つ赤深澤完興第二句集』(半熟、2008) 『まぼろば深澤完興歌集』(文芸書房、1998) 『ちははは深澤完興歌集』(深澤完興、1983) 『ことばの学習としての単元の誕生』/編(東洋館出版社、1993) 『考える力を育てる説明文の指導』/編(東洋館出版社、1994)	『昭和町誌』(1990、p1081)	2024/9/14	昭和
フカサワ キッペイ 深沢 吉平	男	1885 1957	甲西町	南アルプス市	『郷土研究こうさい20号』	社会科学	酪農の先覚者。 明治36年、一家で北海道音江村(現深川市)に入植。30歳で音江村の村長になり、その後、衆院議員、北海道製酪販売連合会理事、北海道興農公社社長などを歴任。(「郷土研究こうさい20号」)		『郷土研究こうさい20号』(南アルプス市文化協会甲西地区郷土研究部、2004、p10)	2024/11/21	甲西

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
カサワ シロウ 深沢 七郎	男	1914 1987	石和町	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『山梨百科事典』	文学	小説家 1956年『櫛山節考』で中央公論新人賞受賞 1965年「ラブミー農場」を開く 1980年『みちのくの人形たち』が川端康成文学賞に選ばれるが辞退 1981年『みちのくの人形たち』で谷崎潤一郎賞受賞 (『山梨県人物・人材情報リスト2021』 『山梨百科事典』)	『櫛山節考』(新潮社、1977) 『みちのくの人形たち』(中央公論社、1980) 『笛吹川』(中央公論社、1958) 『生きているのはひまつぶし』(光文社、2005) 『益哉老人とその周辺』(文芸春秋、1973) 『櫛山節考/東北の神威たち深沢七郎初期短篇集』(中央公論社、2014) ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p794) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p347～349) 『東八メモリーズこんなひとがいた。』(東八代広域行政組合、2002、p201～214) 『深沢七郎ラプソディ』(福岡哲司著、TBSブリタニカ、1994) 『深沢七郎の文学』(山梨県立文学館、2011) ほか	2024/11/8	石和
カサワ タツヒ 深澤 竜人	男	1964 	山梨県	山梨県	『市民がつくる半自給農の世界』	産業	明治大学政治経済学部兼任講師、山梨学院大学経営情報学部非常勤教員、産業能率大学兼任教員。半農半X実践・研究者。 (『市民がつくる半自給農の世界』)	『市民がつくる半自給農の世界』(農林統計協会、2014) 『市民がつくる半自給農の世界』(農林統計協会、2022) 『近代山梨県経済の研究1』(深澤竜人2023) 『近代山梨県経済の研究2』(深澤竜人2024)	『市民がつくる半自給農の世界』(農林統計協会、2022)	2024/9/14	昭和
カサワ ナオト 深澤 直人	男	1956 	甲府市	甲府市	「山梨日日新聞」 「深澤直人/プロダクトデザイナー—NaotoFukasawaDesign」	芸術・スポーツ	プロダクトデザイナー。 甲府工業高校、多摩美術大学卒。国内外のプロジェクトを多数手掛ける日本のトップデザイナーとして活躍する。山梨県「ものづくり事業者×デザイナーによる製品化プロジェクト」の和紙デザイン担当。 (「山梨日日新聞」) 多摩美術大学卒業。セイコーエプソン入社。1989年渡米し、ID Two入社。シリコンバレーの産業を中心としたデザインの仕事に7年半従事した後、帰国。 2003年、NAOTO FUKASAWA DESIGNを設立。日本民藝館館長。多摩美術大学副学長。 2022年、THE DESIGN SCIENCE FOUNDATION 設立。21_21 Design Sightディレクター。良品計画デザインアドバイザーボード。マルニ木エアートディレクター。日本経済新聞社日経優秀製品・サービス賞審査委員。毎日デザイン賞選考委員。 2006年「Super Normal」設立。ロイヤルデザイナー・フォー・インダストリー(英国王室芸術協会)の称号を持つ。 (「深澤直人/プロダクトデザイナー—NaotoFukasawaDesign」)	『デザインの輪郭』(TOTO出版、2005) 『AMBIENT』(現代企画室、2017) 『ふつう』(D&DEPARTMENTPROJECT、2020) 『深澤直人のアトリエ』(平凡社、2023) ほか	「山梨日日新聞」(2023.8.12.6面顔写真あり、2012.7.11、26面顔写真あり、2017.8.24、13面顔写真あり、2018.5.24、24面顔写真あり) 「深澤直人/プロダクトデザイナー—NaotoFukasawaDesign」 https://naotofukasawa.com/ja/about/ (2024.9.25確認)	2024/9/25	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
フカザワ ユウ 深澤 遊	男	1979 	富士川町	富士川町	『枯木ワンダーランド 枯死木が つなぐ虫・菌・動物と森林生態 系』	自然科学・ 医学	農学博士。 日本学術振興会特別研究員、森林組合 職員、財団法人トロロのふるさと財団職 員を経て、東北大学大学院農学研究科 助教。 専門は森林生態学、微生物生態学、生 物多様性生態学。 2015年、日本菌類学会奨励賞、日本森 林学会奨励賞受賞。 2018年、ケイスケ・ツバキメダル受賞。 2019年、日本生態学会宮地賞受賞。 2021年、東北大学プロミネントリサー フェロー選出。 (『枯木ワンダーランド』『キノコカピの 生態学』『山梨日日新聞』)	『キノコとカピの生態学 枯れ木の中は 戦国時代』(共立出版、2017) 『枯木ワンダーランド 枯死木がつなぐ 虫・菌・動物と森林生態系』(築地書館、 2023) 『枯死木の中の生物多様性』(深澤遊 訳、京都大学学術出版会、2014) 『地上と地下のつながりの生態学 生物 間相互作用から環境変動まで』(深澤遊 訳、東海大学出版部、2016)	『山梨日日新聞』(2023.10.13、11面、顔 写真あり、2019.12.26、21面、顔写真あ り)	2024/11/29	富士川
フカザワ ユキオ 深沢 幸雄	男	1924 2017	平林村	富士川町	『深沢幸雄展 銅版画の詩人追 悼』	芸術・ス ポーツ	銅版画家。 銅版画のほか油彩画、陶芸、ガラス絵 など多くの作品を残した。1957年、第25 回日本版画協会展協会賞受賞。1958 年、第35回春陽会展春陽会賞受賞。同 年、第14回日本芸術院賞受賞。1959 年、第3回シエル美術賞展シエル賞第3 席受賞。1962年、第5回現代日本美術 展招待の部優秀賞受賞。1972年、第3 回国際グラフィックアート・ビエンナーレ 展、ローマ銀行メダル賞受賞。1987年、 紫綬褒章受賞。1994年、メキシコ国文 化勲章アギラ・アステカ受賞。1995年、 勲四等旭日小綬章受賞。『深沢幸雄展 銅版画の詩人追悼』	『深沢幸雄銅版画全作品集』(りゅう画廊 出版部、1981) 『深沢幸雄展 銅版に刻む魅惑の詩』(山 梨県立美術館、1991) 『深沢幸雄展 いのちの根源を謳う 展覧 会図録』(山梨県立美術館、2007) 『現代版画の視点 深澤幸雄の版画対 談』(阿部出版、2013) 『深沢幸雄展 銅版画の詩人追悼 山梨 県立美術館開館40周年記念 展覧会 図録』(山梨県立美術館、2018) 『山梨県立美術館所蔵深沢幸雄版画作 品目録』(山梨県立美術館、2019)ほか	『深沢幸雄のガラス絵』(アーツ・プラン ニング、2008) 『深沢幸雄の全貌』(南アルプス市立春 仙美術館、2007) 『深沢幸雄 市原市所蔵作品集』(市原湖 畔美術館、2014) 『山梨日日新聞』(2023.12.1、9面、 2022.4.29、11面、2018.10.3、13面、顔写 真あり、2018.9.29、13面、2018.9.28、13 面、顔写真あり、2018.9.11、26面、 2018.9.2、21面、2018.8.30、13面、顔写 真あり、2017.3.5、22面、2017.1.3、27 面、顔写真あり)	2024/11/29	富士川
フカザワ ヨシヨリ 深沢 義守	男	1905 1966	身延村	身延町	『身延町誌』 『山梨百科事典』	社会科学	日本大学在学中から農民運動に参加。 全国農民組合全国会議派県連書記長 となる。 1932年、「共産党事件」で投獄。 1945年、社会党県連組織部長、日本農 民組合県連書記長となる。 1949年、日本共産党入党。県内初の共 産党代議士となる。日本農民組合中央 委員として活動するが、党と対立し離 党。後、首都圏住宅生活共同組合常任 理事。 (『身延町誌』『山梨百科事典』)	『八人の同志の手記—私はなぜ共産党 に入ったのか』(解放社、1949、p175~ 202) 『農民運動研究』(農民運動研究会、 1957)	『山梨思想運動史』(山梨思想問題研究 所、1950、p48、63、75、144~145) 『身延町誌』(身延町誌編集委員会、身 延町役場、1970、p1182) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p795) 『女性が主役戦前山梨の労働運動史』 (山寺勉、1990、p568~572) 『近代日本社会運動史人物大事典4』 (日外アソシエーツ、1997、p85) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日 外アソシエーツ、2011、p367) 『山梨新報』(2000.2.12、8面) ほか	2024/11/30	身延

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
フカダ キョウヤ 深田 久弥	男	1903 1971	石川県	石川県	『山梨百科事典』 『韮崎市観光協会』ホームページ	芸術・スポーツ 文学	作家、登山家。 「文学界」同人として文学活動を始め る。太平洋戦争後山登りを再開。 1966年、トルコから中央アジアを経てソ 連まで踏査。日本山岳会山梨支部会 員らとともに韮崎市から茅ヶ岳へ登山中、 山頂付近で脳卒中のため倒れる。 『山梨百科事典』 韮崎市では、深田記念公園を設置し、 記念碑を建立「深田祭」を毎年実施して いる。(『韮崎市観光協会』ホームペー ジ)	『日本百名山』(新潮社、1964) 『わが山山』(改造社、1934) 『シルクロードの旅』(朝日新聞出版、 1978) 『山の文学全集』(朝日新聞社、1974) 『深田久弥の山がたり』1～3(二見書 房、2000)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p795) 『韮崎市観光協会』ホームページ https://www.nirasaki-kankou.jp/kankou_spot/kouen_bijyutsukan_shiryokan/kouen_teien/4334.html (2025.1.12確認)	2025/1/12	韮崎
フカオ テツ 福岡 哲司	男	1948 2015	甲府市	甲府市	『近代山梨の光と影』 『本の本』 『山梨県人物・人材リスト2023』 『山梨日日新聞』	文学	県立高校教諭、山梨県立図書館長、作 家。 近代文学史、近代思想史、国語教育専 攻。 1994年『深沢七郎ラプソディ』が第3回開 高健賞(奨励賞)、1995年第9回中村星 湖文学賞(特別賞)受賞。 平成20年度甲府市民文化奨励賞受 賞。 (『近代山梨の光と影』『山梨県人物・人 材リスト2023』『山梨日日新聞』)	『深沢七郎ラプソディ』(TBSブリタニカ、 1994) 『遠い散歩近い旅』(山梨ふるさと文庫、 2003) 『近代山梨の光と影』(山梨日日新聞 社、2006) 『樋口一葉日記全釈若葉かげ』(『文芸 思潮』第9号、アジア文化社、p190～ 203) ほか	『山梨県人物・人材リスト2023』(日外ア ソシエーツ、2022、p368) 『近代山梨の光と影』(山梨日日新聞 社、2006、奥付) 『山梨日日新聞』(2006.7.8、15面、 2009.1.29、17面、2015.7.22、27面、 2015.12.18、15面、写真あり) 『福岡哲司の遠い散歩近い旅・猫町文 庫店』 http://ccnet.easymyweb.jp/member/kuoka/ (2024/10/31確認、最終記事日 付2017/3/16)	2024/11/26	県立
フタ キネオ 福田 甲子雄	男	1927 2005	白根町	南アルプス市	『花曇』 『山梨県人物・人材情報リスト 2019』	文学	俳人。 「白露」同人。飯田蛇笏・龍太親子に師 事。 1969年第5回山廬賞受賞、2002年第26 回野口賞、2004年第38回蛇笏賞、山梨 県文化省特別賞受賞、2003年白根町 特別功労者表彰。 (『花曇』)	『曇火』(雲母社、1971) 『飯田蛇笏』(桜楓社、1973) 『白根山麓』(邑書林、1982) 『盆地の灯』(角川書店、1992) 『肌を通して覚える俳句』(朝日新聞社、 1999) 『飯田竜太の四季』(富士見書房、 2001) 『草風』(花押社、2003) 『蛇笏・龍太の旅心』(山梨日日新社、 2003) 『師の掌』(角川書店、2005) 『福田甲子雄全句集』(ふらんす堂、 2018) ほか	『花曇』(福田甲子雄展実行委員会、 2011、p118～119) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日 外アソシエーツ、2018、p346) 『福田甲子雄全句集』(ふらんす堂、 2018、p259～290) 『福田甲子雄の世界』(「俳句研究」第63 巻2号、富士見書房、1995、p15～58) 『福田甲子雄『盆地の灯』』(「俳句」第42 巻5号、角川書店、1993、p164～182) 『追悼・福田甲子雄』(「俳句朝日」通巻 125号、朝日新聞社2005、p38～43) 『山梨日日新聞』(2005.4.26、10面、19 面、2005.4.30、10面、2018.10.13、14 面、顔写真あり)ほか	2024/10/4	白根

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
フクダ シュウジ 福田 修二	男	1951 	白根町	南アルプス市	『山梨日日新聞』 『山梨県人物・人材情報リスト 2019』	産業	太平洋セメント取締役会長。元セメント協会会長。 山梨県白根町(現南アルプス市)出身。山梨県立巨摩高等学校を経て、福島大学卒業。 昭和49年(1974)小野田セメント(現太平洋セメント)入り。執行役員などを経て平成22年(2010)8月から取締役常務執行役員。平成24年(2012)4月から代表取締役社長。 『山梨日日新聞』(2012.2.298面)2018年から会長。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)		『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アンシエーツ、2018、p150) 『週刊ダイヤモンド』(ダイヤモンド社、4436号) 『財界』(財界研究所、1518号) 『山梨日日新聞』(2012.2.29、8面、2013.2.9、8面)	2024/12/12	白根
フジヤマ イサム 藤嶋 勇	男	1931 	清哲村	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト 2000』	産業	農業家。 山梨県農業改良普及員、野菜・花き専門技術員、山梨県農業試験場八ヶ岳分場場長、農業改良普及所所長などを歴任。タラノメなど山菜の園芸科研究を続け全国の山菜栽培普及に尽力。 (『山梨県人物・人材情報リスト2000』)	『タラノメ』(農山漁村文化協会、1997年)『山菜の絵本』(農山漁村文化協会、2010)	『山梨県人物・人材情報リスト2000』(日外アンシエーツ、2000、p327)	2025/1/12	韮崎
フジタニ ミサオ 藤谷 みさを	女	1901 1984	山県	山県	『山梨の女性作家たち』	歴史・地理 文学	教員、史学者、随筆家。 1927年結婚して春日居町に居住。 1940年東京日日新聞社が皇紀二千六百年記念事業で募集した論文に一等入選し、50万部を突破するベストセラーとなる。 1951～1954年徳富蘇峰『近世日本国民史』の口述筆記をつとめる。 (『山梨の女性作家たち』)	『皇国二千六百年史』(大阪毎日新聞社、1940、山梨県立図書館所蔵) 『蘇峰先生の間像』(明玄書房、1958、山梨県立図書館所蔵) 『あしのうら』(金剛出版、1964、山梨県立図書館所蔵) 『一期一会』(野ばら社、1969) 『こぶしの花』(野ばら社、1971、山梨県立図書館所蔵) 『次善を生きる』(風濤社、1980、山梨県立図書館所蔵) 『老人ホームの四季』(社会保険出版社、1983、山梨県立図書館所蔵)	『山梨の女性作家たち』(ふじざらの会、1997、p48～55) 『甲斐路ふるさとの文学散歩』(山梨日日新聞社、1989、p57)	2024/11/14	春日居
フジハラ ミル 藤原 実	男	1974 	甲府市	甲府市	『現代オタク用語の基礎知識』 『山梨日日新聞』	社会科学	会社経営者。 2009年『現代オタク用語の基礎知識』発刊。 (『山梨日日新聞』) 女性オタク向け古典朗読CD企画制作販売を手掛ける。 『知っているだけで恥ずかしい現代オタク用語の基礎知識』 2013年、藤原実税理士事務所設立。 (『藤原実税理士事務所』ホームページ)	『現代オタク用語の基礎知識』(ディスカヴァー・トゥエンティワン、2009) 『萌えビジネスに学ぶ「顧客を熱中させる」技術「売れない時代」の新しいマーケティング論』(中経出版、2012) 『まいにち見るのに意外と知らないIT企業が儲かるしくみ』(技術評論社、2014)	『山梨日日新聞』(2009.8.2、12面) 『藤原実税理士事務所』ホームページ https://www.morestartups.net/ (2024.9.29確認)	2024/9/29	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
フジマキ アイコ 藤巻 愛子	女	1940 	塩山市	甲州市	『かみず』 『藤巻愛子が語る山梨のむかし 話と伝説』	芸術・ス ポーツ 言語 文学	山梨むかしがたりの会主宰 日本民話の会会員 日本民話研究会会員 民話と文学の会会員 (『藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝 説』)	『武田氏の伝説』(瑞想舎、2022) 『たぬきえもん』(福音館書店、2016) 『甲州弁で語る山梨の昔話と伝説第2 集』(甲州弁民話房、2010) 『藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝 説』(甲州民話房、2005) 『かみず』(藤巻愛子、2008) 『昔話ふるさとへの旅』CD(キングレ コード、2005) 『甲州弁いろはカルタ』CD(榊萌木の 村、2004)	『藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝 説』(藤巻愛子、2008、奥付) 『かみず』(甲州弁民話房、2005、奥付)	2025/2/28	塩山
フジマキ カイチロウ 藤巻 嘉一郎	男	1872 1946	清哲村	韮崎市	『甲斐路の夜明け』	社会科学	弁護士。 1872年判検事登用試験に合格、司法官 試補に任命され検事代理として岐阜区 裁判所に赴任。 1900年12月、甲府地方裁判所の判事と して赴任。 1908年、弁護士を開業。 1914年、甲府弁護士会の会長に選出。 1917年1月、「信玄旗掛松事件」の訴訟 代理人となり、甲府地方裁判所へ提 訴。翌1918年1月、原告側の勝訴とな る。その後東京控訴院、大審院でも原 告が勝訴して確定。 1931年、弁護士を廃業して公証役場を 開く。(『甲斐路の夜明け』)		『甲斐路の夜明け』(創研出版、1990、 p182~184) 「山梨日日新聞」(2018.10.10、18面、写 真あり)	2025/1/12	韮崎
フジマキ カメチ 藤巻 亀吉	男	1852 1916	南部町	南部町	『南部地区における明治の群 像』	産業	地方開発の業績により日本で17番目の 緑綬褒章授与。 1877年、西八代郡第21学区学務員。 1893年、栄銀行(興農社)頭取就任。 1896年県議会議員に当選以来32年間、 県政に尽力。(『南部地区における明治 の群像』)		『改訂南部町誌下巻』(南部町、1999、 p396) 『南部地区における明治の群像』(渡辺 修孝著、渡辺修孝、2000、p11)	2024/12/3	南部

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
フジマキ リョウタ 藤巻 亮太	男	1980 	御坂町	笛吹市	「レミオロメン公式サイト」	芸術・スポーツ	2000年に結成したバンド、「レミオロメン」のボーカル・ギター。 2003年、1stMiniAlbum『フェスタ』でインディーズデビュー。レコード店のインディーズチャートで上位をマークする。 同年2ndSingle『電話』でメジャーデビュー。2005年にリリースされた8thSingle『粉雪』が大ヒット。 2006年8月、山梨県日本航空学園(甲斐市)にて史上初の滑走路ライブを開催し、3万人を動員。 2012年2月活動休止(レミオロメン公式サイト) 2012年2月Single「光をあつめて」でソロデビュー。同年10月にはソロ1stAlbum「オオカミ青年」をリリース。 2018年から山中湖交流プラザきららで、野外音楽フェス「Mt.FUJIMAKI」を主催。(「山梨日日新聞」)	Single 「粉雪」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGUM02005) 「茜空」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGUM02007) 「夢の蕾」(OORONGRECORDS2009)ほか Album 「HORIZON」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGUM02006) 「風のクロマ」 (SPEEDSTARRECORDS/OOKIGUM02008) 「レミオベスト」 (OORONGRECORDS2009)ほか ソロSingle 「光をあつめて」(2012) 「朝焼けの向こう(配信)」(2023)ほか ソロAlbum 「オオカミ青年」(2012) 「日日は好日」(2016) 「Sunshine」(2023)ほか	「レミオロメン公式サイト」 http://www.remiromen.jp/ (2024.10.28確認) 『テレビ・タレント人名事典』第6版(日外アソシエーツ、2004、p995~996) 「HJ」(ロッキング・オン、2006年9月号、p12~29) 『レミオロメン物語』(本郷陽二、汐文社、2007) 「藤巻亮太オフィシャルサイト」 https://www.fujimakiryota.com/ (2024.10.28確認) 山梨日日新聞(2018.6.26、18面、2020.8.24、9面、顔写真あり)	2024/10/28	御坂
フジモト シュン 藤本 俊	男	1950 	広島県	広島県	「山梨日日新聞」 『山梨県人物・人材情報リスト2019』	芸術・スポーツ	中央市在住。モントリオール五輪体操男子団体総合金メダリスト、山梨大学名誉教授。 紀陽銀行を経て1976年1月山梨大学助手となる。同年夏のモントリオール五輪で団体総合優勝。 2017年国際体操殿堂入り。スポーツ功労賞、日本スポーツ賞、朝日賞、山梨県体育協会体育功労者(山梨日日新聞) (『山梨県人物・人材情報リスト2019』)	『男子・体操競技(鞍馬・平行棒編)』(泰流社、1978)	「山梨日日新聞」(2017.7.1、p41) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p282、p573)	2024/8/28	田富

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
フジワラ ヒサコ 藤原 緋沙子	女	1947 	高知県	高知県	『雁の宿』 『菜の花の道』 『歴史時代小説文庫総覧 現代の作家』 「広報ふえふき」	文学	小説家・脚本家。 高知県生まれ。立命館大学文学部史学科卒業。 小松左京主宰「創翔塾」出身。 テレビドラマ「暴れん坊将軍」「はぐれ刑事純情派」などの脚本を手掛ける。 2002年「隅田川御用帳」シリーズとなる 『雁の宿』で小説家デビュー。 2009年3月より笛吹市在住。 2013年「隅田川御用帳」シリーズで第2回歴史時代作家クラブ賞シリーズ賞受賞。 (『雁の宿』『菜の花の道』『広報ふえふき』『産経ニュース』ホームページ)	『雁の宿』(広済堂出版、2002) 『風光る』(双葉社、2005) 『遠花火』(講談社、2005) 『ふたり静』(文藝春秋、2011) 『恋の櫛』(新潮社、2018) 『ほたる茶屋』(KADOKAWA、2020) 『岡っ引黒駒吉蔵』(文藝春秋、2022) 『菜の花の道』(KADOKAWA、2022) 『絵師金蔵赤色浄土』(祥伝社、2023) 『雨のあと』(双葉社、2023) 『馬駆ける』(文藝春秋、2024) ほか	『菜の花の道』(KADOKAWA、2022、奥付) 「山梨日日新聞」(2010.10.30、11面) 「広報ふえふき」(2010年9月号、p37・p39、2013年1月号、p28) 『歴史時代小説文庫総覧 現代の作家』(日外アソシエーツ、2017、p358) 「産経ニュース」(2013.5.27) http://www.sankei.com/life/news/130527/lif1305270031-n1.html (2024.10.12確認)	2024/11/14	春日居
フジワラ ヨシアキ 藤原 義章	男	1942 2022	秋田県	秋田県	『リズムはゆらぐ』	芸術・スポーツ	東京都交響楽団創立団員で、元新日本フィルハーモニー交響楽団首席ピオラ奏者。1994年、東京エレクトロン葦崎文化ホール初代館長に就任。 (「山梨日日新聞」)	『リズムはゆらぐ』(白水社、1990) 『新しいアンサンブル入門』(春秋社、1992) 『ヴァイオリンとヴィオラの小百科』(春秋社、1999) 『美しい演奏の科学』(春秋社、2006) 『ヴァイオリンとヴィオラの小百科 増補版』(春秋社、2008)	「山梨日日新聞」 (2006.2.18、15面、2008.8.4、16面、2022.3.16、31面)	2024/11/12	楯形
フミタ ケンイチロウ 文田 健一郎	男	1995 	韮崎市	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』 「山梨日日新聞」 「広報にらさき」	芸術・スポーツ	レスリング選手。 2010年、全国中学生選手権優勝。 2011～2013年、韮崎工業高校在学中 全国高校生グレコローマン選手権と団体グレコローマンで3連覇。 日体大に進み、2014年世界ジュニア選手権60キロ級出場。 2015年、全日本選手権と国体を制する。 2017年、アジア選手権優勝、全日本選手権2連覇。初出場の世界選手権で金メダル。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 2017年、韮崎市民栄誉賞受賞。 (「広報にらさき」) 2018年、第42回野口賞受賞。 2021年、東京2020オリンピック競技大会レスリング男子グレコローマン60キロ級銀メダル(『広報にらさき』) 2024年、パリオリンピックレスリング男子68キロ級金メダル(「山梨日日新聞」)	『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p573) 「広報にらさき」 (2018年10月号) (2021年9月号、写真あり) 「山梨日日新聞」 (2018.7.1、52面、写真あり、2024.8.8、1面、13面、22面、23面、写真あり)	2024/11/1	韮崎	
フルヤ カズオ 古屋 和雄	男	1949 	小立村	富士河口湖町	『世代を超えて』	社会科学	早稲田大学経済学部卒業後、1972年NHK入局、テレビ・ラジオの情報系を中心に活躍。 (『世代を超えて』)	『愛されたい症候群』(講談社、1986) 『余った人生なんてない』(かもがわ出版、1998) 『おくればせながら男の出番です』(旬報社、1992) 『優しく「老い」をみつめたい』(かもがわ出版、1990) 『くやし涙うれし涙神戸』(PHP研究所、1996)	『愛されたい症候群』(講談社、1986、奥付) 『余った人生なんてない』(かもがわ出版、1998、奥付)	2024/12/28	富士河口湖

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
フルヤ カネオ 古屋 兼雄	男	1920 2010	甲西町	南アルプス市	『甲府盆地に残る虚構と真実』 『山梨日日新聞』	歴史・地理	軍籍4ヶ月の後、甲西町議会議員当選 2期、甲西町民生委員長、甲西町消防 団長、甲西町選挙管理委員長、甲西町 文化協会会長、中巨摩郡郷土研究部事 務局長等(『甲府盆地に残る虚構と真 実』)	『富田城の発見』(富田城顕彰会、 1977) 『武田意外史』(近代文藝社、1994) 『甲府盆地に残る虚構と真実』(やまなし ふるさと文庫、2008)	『甲府盆地に残る虚構と真実』(やまなし ふるさと文庫、2008、奥付) 『山梨日日新聞』(2010.11.10、20面)	2024/11/21	甲西
フルヤゴロウ 古屋 五郎	男	1910 1995	菅原村	北杜市	『白州町誌』 『南十字星の下に』	文学 社会科学	初代白州町長 県町村会長 全国町村会常任理事 県農業構造改善審議会議長 県農業合併促進審議会議長 県農林統計会長 砂防協会会長 河川協会会長 日本赤十字山梨支部副支部長 国立公園協会県副支部長 (『白州町誌』『南十字星の下に』)	『甲斐路ふるさとの文学散歩』 (山梨日日新聞社、1989) 『南十字星の下に』(新聞春秋社、1964) 『南方第九陸軍病院南十字星の下に』 (ほるぷ出版、1989)	『白州町誌』(白州町、1986、p1445) 『南十字星の下に』(新聞春秋社、 1964、p239)	2024/10/23	はくしゅう
フルヤ トクヘ 古屋 徳兵衛	男	1849 1911	上教来石村	北杜市	『松屋一五〇年史』	産業	1869年横浜で鶴屋呉服店を開業。1889 年東京神田の松屋呉服店を買収 し、1907年百貨店(現在の松屋)とする 『バーゲンデー』の生みの親 (『松屋一五〇年史』)		『松屋一五〇年史』(松屋2019、p21~ 22) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p827) 『山梨日日新聞』(2020.8.4、17面、顔写 真あり)	2024/10/23	はくしゅう
フルヤ ヒサアキ 古屋 久昭	男	1943 	御坂町	笛吹市	『古屋久昭詩集』	文学	詩人。 山梨県詩人会の理事長、会長などを務 める 日本現代詩人会が主催する、第72回「H 氏賞」の選考委員長 (『古屋久昭詩集』『山梨県人物・人材情 報リスト2021』)	『三色隣り合わせ』(美和草舎、1993) 『虫らしく花らしく』(美和草舎、1996) 『日用散策』(山梨ふるさと文庫、2004) 『古屋久昭詩集』(土曜美術社出版販 売、2015) ほか	『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日 外アソシエーツ、2020、p350) 『朝日新聞』(2022.2.24)	2024/11/8	御坂
ホウジョウ ユウコ 北条 裕子	女	1985 	白根町	南アルプス市	『山梨日日新聞』	文学	山梨学院高、青山学院大第二経済学部 卒業 2018年4月、『美しい顔』で第61回群像 新人賞を受賞し、作家デビュー。 『山梨日日新聞』(2018.6.1822面)	『美しい顔』(『群像』第73巻6号、講談 社、2018) 『美しい顔』(講談社、2019)	『群像』(第73巻6号、講談社、2018、p6 ~85) 『山梨日日新聞』(2018.6.18、22面、顔 写真あり、2018.5.18、12面、顔写真あ り、2018.7.12、29面、顔写真あり、 2019.5.17、12面、顔写真あり、 2019.6.19、12面、顔写真あり)	2024/10/4	白根
ホール ホリウチ ポール 堀内	男	1906 1999	大石村	富士河口湖町	『富士北麓と文人たち』	芸術・ス ポーツ	画家。コラーージュ作家。 1955年金米タッパウエアコンペ賞、1960 年フォード財団賞、1970年各州一人の 年間政府賞をはじめ30賞以上。 1968年ワシントン州ビュージッド・サウ ンド大学名誉博士、1976年勲4等瑞宝 章、1979年セント・マーチン大学名誉博 士。 (『富士北麓と文人たち』)		『富士北麓と文人たち』(内藤成雄、ぎょ うせい、1986、p267~283) 『雪解流』(富士吉田市文化協会、6号、 p55~65) 『山梨県立美術館蔵品抄』(山梨県立美 術館、1978、p130)	2024/12/28	富士河口湖

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ホサカ カズシ 保坂 和志	男	1956 	増穂町	富士川町	「ザやまなし」 『山梨県人物・人材リスト2023』	文学	小説家。 1993年『草の上の朝食』が野間文芸新人賞受賞。 1995年『この人の闘』が第113回芥川賞受賞。 1997年『季節の記憶』が第25回平林たい子文学賞(小説部門)、第33回谷崎潤一郎賞受賞。 『小説、世界の奏でる音楽』 2013年『未明の闘争』が第66回野間文芸賞受賞。 2018年「ことよそ」(『ハレルヤ』収録)が第44回川端康成文学賞受賞。 (『山梨県人物・人材リスト2023』)	『草の上の朝食』(講談社、1993) 『この人の闘』(新潮社、1995) 『季節の記憶』(講談社、1996) 『カンバセーション・ピース』(新潮社、2003) 『小説の誕生』(新潮社、2006) 『三十歳までなんか生きるな』とっていた。(草思社、2007) 『小説、世界の奏でる音楽』(新潮社、2008) 『未明の闘争』(講談社、2013) 『ハレルヤ』(新潮社、2018) 『猫がこなくなった』(文藝春秋、2021) ほか	「山梨日日新聞」(2018.4.13、26面、写真あり) 「ザやまなし」(山梨日日新聞社、1995年9月号、p2~3) 『山梨県人物・人材リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p369~370) 保坂和志オフィシャルウェブサイト http://hosakakazushi.com/ (2024/11/24確認)	2024/11/24	県立
ホサカ カナイ 保阪 嘉内	男	1896 1937	駒井村	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』	文学	詩人。 宮沢賢治の親友。 1916年、旧制甲府中学から盛岡高等農林学校に進み、寮で1年先輩の詩人・宮沢賢治と同室になる。 以来、文芸同人誌「アザリア」を発行するなど親交を深める。 (『山梨県人物・人材情報リスト2019』) 1918年、除名処分を受け、帰村。営農のかたわら、農村青年を指導する農業伝習所設立に尽力。 賢治の遺品や手紙を嘉内の生家に残す。 (『韮崎市誌』)		『韮崎市誌・中巻』(韮崎市誌、1979、p712) 『韮崎市誌・下巻』(韮崎市誌、1979、p431) 『宮沢賢治友への手紙』(筑摩書房、1979) 『宮沢賢治の青春』(宝島社、1994) 『心友-宮沢賢治と保阪嘉内』(山梨ふるさと文庫、2007) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p348)	2024/11/1	韮崎
ホサカ コウ 保阪 耕	男	1960 	韮崎市	韮崎市	『21世紀—山梨の100人』	産業	ブドウ農家。 農協指導員として地区のブドウ栽培を見たのち、自らの畑で栽培。 (『21世紀—山梨の100人』)		『21世紀—山梨の100人』(山梨新報社、2002、p12)	2024/11/1	韮崎
ホサカ コウジン 保坂 耕人	男	1909 2003	竜王村	甲斐市	『山梨県人物・人材情報リスト2023』	文学	歌人。 本名、保坂農康。 甲府中時代から作歌をはじめ、1932年「心の花」に入会。 佐佐木信綱、治綱、幸綱に師事。 「炎樹」主宰。「甲府なごの会」代表。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』)	『一隅』(甲陽書房、1965) 『岫』(短歌新聞社、1979) 『風炎』(短歌新聞社、1984) 『風』(なごらみ書房、1994) 『風塵抄』(なごらみ書房、1988) 『保坂耕人全歌集』(なごらみ書房、2015)	『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p371) 「山梨日日新聞」(2006.12.1、22面、2003.6.24、10面、2003.6.21、27面、2015.9.4、13面)	2024/9/25	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ典拠	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ホサカ コロキチ 保坂 吾良吉	男	1920 2005	山梨県	山梨県	『双葉町百話集』	歴史・地理 社会科学	元双葉町文化財審議会議長 県文化財保護指導員 県史編集協力者 2003年県文化賞奨励賞受賞(『双葉町 百話集』)	『双葉町の石造物』(双葉町石造物誌編 集委員会、1992) 『双葉町とところどころ』(保坂吾良吉、 1997) 『双葉町百話集』(保坂吾良吉、2004) 『甲斐108』(山梨郷土研究会2005、25 p) 『甲斐路79』(山梨郷土研究会1994、33 p) 『甲斐路84』(山梨郷土研究会1996、46 p)	山梨日日新聞(2003.11.12、20面) 山梨日日新聞(2004.8.4、22面) 『双葉町百話集』(保坂吾良吉、2004、 奥付)	2024/11/1	双葉
ホサカ サトシ 保坂 聡	男	1944 	竜王町	甲斐市	『山梨日日新聞』	産業	飲食店経営	『竜王駅物語』(保坂聡、2006)	『山梨日日新聞』(2006.2.9、15面)	2024/11/25	竜王
ホサカ ツネオ 保阪 庸夫	男	1926 2016	韮崎市	韮崎市	『宮澤賢治友への手紙』 『保阪嘉内・宮沢賢治アザリア記 念会会報・第15号』	自然科学・ 医学 文学	医学博士。 旧韮崎外科病院(現韮崎相互病院)院 長。 (『宮澤賢治友への手紙』) 保阪嘉内次男。 父親保阪嘉内と宮澤賢治との交友の足 跡を賢治から送られた73通の手紙をも とに研究し『宮沢賢治友への手紙』を出 版、多数の論文、寄稿文を著す。 (『保阪嘉内・宮沢賢治アザリア記念会 会報第15号』)	『宮沢賢治友への手紙』(筑摩書房、 1979) 『心友宮沢賢治と保阪嘉内』(山梨ふる さと文庫、2007)	『宮沢賢治友への手紙』(筑摩書房、 1979、奥付) 『保阪嘉内・宮沢賢治アザリア記念会会 報・第15号』(保阪嘉内・宮沢賢治アザリ ア記念会)	2025/1/13	韮崎
ホサカ トクコロウ 保坂 徳五郎	男	1923 2005	双葉町	甲斐市	『走馬灯の独白』	文学	元サントリー山梨ワイナリー職員 山梨県自然保護監視員 山梨県・県政モニター(『土魂の四季』)	『土魂の四季』(保坂徳五郎、1984) 『走馬灯の独白』(保坂徳五郎、1993)	『走馬灯の独白』(保坂徳五郎、1993、 204p)	2024/11/1	双葉
ホサカ ナオミツ 穂坂 直光	男	1847 1920	大草村	韮崎市	『韮崎市誌』	自然科学・ 医学 社会科学	1897年ごろ、甘利山が薪とりなどで丸裸 になっているのを憂い、大草町に六反 歩の苗圃を設ける一方県当局に補助金 を申請、1915年までの10年間松苗をは じめ杉、唐松、栗を植林した。 幼木の生育期間の10年間は村民の入 山を禁止し厳しく監視させた。昭和3年 山梨県山林会から林業功労者として表 彰された。 1953年には山梨時事新聞にて「上水道 建設に一役三十年前の功績実る」との 記事が掲載されるに至る。 (『韮崎市誌』)		『韮崎市誌・下巻』(韮崎市、1979、p430) 『甘利山に木を植えた穂坂直光さん』 (韮崎市ふるさと偉人資料館、2020)	2025/1/13	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ホサカ リオ 保坂 紀夫	男	1940 2017	竜王町	甲斐市	『変幻の竹』 『山梨県人物・人材情報リスト 2023』	芸術・ス ポーツ	造形作家。 保坂耕人の長男。 保坂デザイン研究所所長。 (『変幻の竹』) 武蔵野美術大学工芸工業デザイン科 卒。竹造形作家、工業デザイナー。保 坂デザイン研究所代表、ハケ岳バン プーハウス代表取締役、竹の造形館館 長などを歴任。 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) 2014年、第38回野口賞(芸術・文化部 門)受賞。 (「山梨日日新聞」)	『変幻の竹』(六耀社、1999) 『保坂耕人全歌集』(ながらみ書房、 2015) 『自在の竹』(日貿出版社、2016)	『変幻の竹』(六耀社、1999) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p441～ 442、P444) 『山梨日日新聞』(2014.7.1、59面、 2017.9.29、14面) 「保坂紀夫竹の造形美術館」 http://www.bambooart.jp/ (2024.9.25確認)	2024/9/25	甲府
ホカワ シュウネン 細川 秀年	男	1934 	香川県	香川県	『21世紀-山梨の100人』	芸術・ス ポーツ	陶芸家。 21歳の時京都市・清水焼の大家、故清 水六兵衛に弟子入りする。日展をはじ め、各種陶芸展での入選は限らない。 富士吉田市上吉田に富士山秀年窯を 設置。富士山の土を使った陶芸作品を 制作している。 (『21世紀-山梨の100人-』)		『21世紀-山梨の100人』(山梨新報社、 2002、p72～73)	2024/12/27	富士吉田
ホソカワ ヒデオ 細川 英雄	男	1949 	東京	東京	『自分の<ことば>をつくる』	言語	1949年東京生まれ。早稲田大学名誉教 授(大学院日本語教育研究科)。博士 (教育学)。 専門は言語文化教育。言語文化教育 研究所ハケ岳アカデミア主宰。ことば と文化の教育をめぐる市民性形成とwel l-being(よく生きる)をめざした言語教 育の理論と実践について研究。 1989年『パリの日本語教室から』でヨゼ フ・ロゲンドルフ賞受賞。 1991年～白州町花水在住。 (『自分の<ことば>をつくる』)	『パリの日本語教室から』 (三省堂、1987)、 『薪ストーブのある暮らし』 (筑摩書房、1995)、 『日本語教育は何をめざすか』 (明石書店、2002)、 『対話をデザインする』 (筑摩書房、2019)、 『自分の<ことば>をつくる』 (ティスカヴァー・トウエンティワン、 2021) ほか多数	『薪ストーブのある暮らし』 (筑摩書房、1995) 『山梨日日新聞』(2020.2.28、9面、 2021.12.22、5面、2022.3.4、17面) 「言語文化教育研究所」 http://gbki.org/ (2024.10.23確認)	2024/10/23	はくしゅう
ホソダ サダノ 細田 さだの	女	1871 1905	小田川村	韮崎市	『峡北地方物故文化人集』	社会科学	明治27年国本女学校を創立。 もっぱら裁縫と家政を教授する。 (『峡北地方物故文化人集』)		『峡北地方物故文化人集』(1961、p25) 『韮崎の礎を築いた偉人たち2巻』(韮崎 ふるさと偉人研究会、2018、p2) 『峡北女子教育の先駆者細田さだの』 (韮崎ふるさと偉人研究会、2021)	2024/11/1	韮崎
ホリ シュウセイ 堀 秀成	男	1819 1887	茨城県 古河市	茨城県 古河市	『韮崎の礎を築いた偉人たち』 『韮崎市誌』	社会科学	教育者。 1819年江戸の古河藩井家の江戸屋敷 で生まれる。 1856年37歳の時、穴山の石水の城源 院で長養義塾を開く。 山梨にいる10年間で700名に及ぶ弟子 を指導する。 1870年朝廷に徴され大学少博士に任 ぜられる。 その後神官教院教授に任ぜられる。生 涯の著書は130部を超える。 『韮崎の礎を築いた偉人たち』 『韮崎市誌』	『音義全書上・下』(輯神宮奉齋会、 1913、山梨県立図書館所蔵)	『韮崎の礎を築いた偉人たち』(韮崎ふ るさと偉人研究会、2016、P6) 『韮崎市誌・下巻』(韮崎市、1979、 p440) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p854)	2025/1/11	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ホリウチ ケイジ 堀内 啓治	男	1875 1945	富士吉田市	富士吉田市	『山梨百科事典』	社会科学	代議士。 1907年、県会議員に当選。 1912年、衆議院に当選。 福地村(富士吉田市)長、富士吉田市 外2ヶ村恩賜県有財産保護組合長、福 地村耕地整理組合長を歴任。このほか 宮川電灯社長、饒益銀行、吉田銀行頭 取として富士北麓の経済発展に尽力し た。 (『山梨百科事典』)		『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p853)	2024/12/27	富士吉田
ホリウチ サチエ 堀内 幸枝	女	1920 2021	御代咲村	笛吹市	『堀内幸枝全詩集』 『山梨日日新聞』	文学	詩人 詩誌「葡萄」主宰 日本現代詩人会(名誉会員)、日本文 芸家協会、日本ペンクラブ所属 (『山梨県人物・人材リスト2023』)	『不思議な時計』(書肆ユリイカ、1956) 『夢の人に』(無限、1975) 『市之蔵村』(文京書房、1985) 『堀内幸枝詩集』(土曜美術社、1989) 『村のたんぼぼ』(三茶書房、1991) 『九月の日差し』(思潮社、1997) 『堀内幸枝全詩集』(沖積舎、2009)	『山梨興信録』(山梨日日新聞社、 1979、p727) 『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p371) 『堀内幸枝全詩集』(沖積舎、2009、 p869~900に年譜あり) 『「山の少女」と呼ばれた詩人』(鈴木正 樹著、土曜美術社出版販売、2020) 『山梨日日新聞』(2021.10.30、31面、顔 写真あり、死去年月日あり) 『山梨日日新聞』(2021.11.12、13面、顔 写真あり)	2024/11/15	一宮
ホリウチ ショウ 堀内 昭登	男	1949 	大石村	富士河口湖町	『四季のハーブ』	産業	1968年河口湖町職員に、1990年河口 湖町ふるさと振興財団に外向、河口湖 ハーブ館館長。 (『四季のハーブ』) 2009年から河口湖町議会議員(『山梨日 日新聞』)	『四季のハーブ』(山梨日日新聞社、 1994)	『四季のハーブ』(山梨日日新聞社、 1994、奥付) 『山梨日日新聞』(2009.10.5、1面)	2024/12/28	富士河口湖
ホリウチ リョウヘイ 堀内 良平	男	1870 1944	黒駒村	笛吹市	『山梨百科事典』 『山梨県人物・人材情報リスト 2017』	社会科学	実業家、政治家。 1912年、富士身延鉄道(身延線)を創 立。小野金六を社長に迎え、常務取締 役となる。1918年、東京市街自動車株 式会社を創立、専務取締役。1926年、 富士山麓電気鉄道株式会社、富士山麓 土地株式会社を設立、取締役社長。 1930年から衆院議員となり、当選3回、 民政党に属した。 (『山梨県人物・人材情報リスト2017』、 『富士北麓と文人たち』)		『山梨「人物」博物館』(丸山学芸図書、 1993、p135) 『富士北麓と文人たち』(内藤成雄著、 ぎょうせい、1986、p360~375) 『山梨県人物・人材情報リスト2017』(日 外アソシエーツ、2016、p25) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、 1989、p854) 『富士を拓く-堀内良平の生涯-』(塩田 道夫著、堀内良平伝刊行委員会、 1994)	2024/12/27	富士吉田

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日(最終 更新日)	記入館
ホリコメユキ 堀米 勇輝	男	1992 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材情報リスト 2023』 「山梨日日新聞」	芸術・ス ポーツ	サッカー選手。 山梨学院大附属高校卒業。 ヴァンフォーレ甲府ジュニアユースから ユースチームに昇格。高い技術と優れた 戦術眼で早くから評価される。 2010年、トップチームに昇格。 2013年ロアッソ熊本、2014年愛媛FCに 期限付き移籍、2016年京都サンガに移 籍。2017年にヴァンフォーレ甲府に復 帰、2019年にジェフユナイテッド市原・千 葉に移籍。 U-16、U-17、U-19の各年代で日本代 表に選ばれ、2009年U-17W杯に出場。 2015年より、甲府大使。 2022年1月サガン鳥栖に移籍 (『山梨県人物・人材情報リスト2023』) (「山梨日日新聞」) (「サガン鳥栖OfficialWebSite」)		『山梨県人物・人材情報リスト2023』(日 外アソシエーツ、2022、p615) 「山梨日日新聞」(2015.2.12、13面顔写 真あり、2015.7.25、23面顔写真あり、 2017.2.12、20面顔写真あり、2019.1.10、 17面、顔写真あり、2021.12.28、23面顔 写真あり) 「Jリーグ公式選手名鑑」 https://www.jleague.jp/player/1000380 /#attack (2024.9.26確認) 「サガン鳥栖OfficialWebSite」 https://www.sagan- tosu.net/team/player/160298/ (2024.9.26確認) 「堀米勇輝X」 https://x.com/yuki121377 (2024.9.26確 認) 「堀米勇輝Instagram」 https://www.instagram.com/h.yuki1213 / (2024.9.26確認)	2024/9/26	甲府
ホンジョウ カイヘイ 本庄 魁平	男	1893 1984	河口村	富士河口湖町	『河口湖町文化のあゆみ』	歴史・地理	元河口浅間神社宮司 郷土研究家	『川口村の古事志』(羽田印刷、1981) 『富士山明細図』(富士吉田市教育委員 会、1978) 「川口村古事1・2・3・4」(「二十一日会」 第72号p20、73号p13p、74号p12、75号 p22、二十一日会、1979) 「川口村の古代墳墓について」(「富士を 守る」第77号p14、二十一日会、1979) ほか	『河口湖町文化のあゆみ』(河口湖町教 育委員会、1978、p268顔写真あり)	2024/12/28	富士河口湖